

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-224450

(P2001-224450A)

(43)公開日 平成13年8月21日(2001.8.21)

(51)Int.Cl.

A 4 7 B 77/08

識別記号

F I

A 4 7 B 77/08

キーワード(参考)

C 3 B 0 6 0

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-41743(P2000-41743)

(22)出願日 平成12年2月18日(2000.2.18)

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者 中村 明弘

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

(72)発明者 川手 隆

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

(74)代理人 100093230

弁理士 西澤 利夫

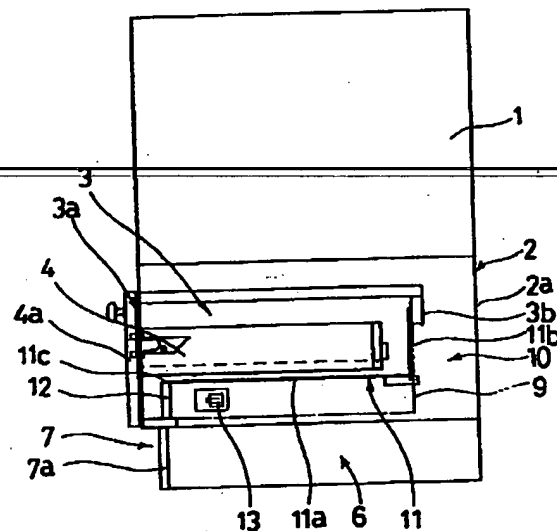
Fターム(参考) 3B060 G001

(54)【発明の名称】 キッチンキャビネット

(57)【要約】

【課題】 食器洗い機の配管工事を容易とし、施工性、メンテナンス性ともに優れたキッチンキャビネットを提供する。

【解決手段】 引出し収納部(3)の後端(3b)がキャビネット本体(2)の背板(2a)から前方に離れて配置されとともに、引出し(4)の前板(4a)の下端付近から引出し収納部の後端下方に向かい、ここから引出し収納部の後端上部へと至る断面L字型の開口部(9)がキャビネット本体に形成され、キャビネット本体は、引出し収納部の後方に高さ方向に延びる後部空間(10)を有し、この後部空間は下部空間と連通している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 食器洗い機がキャビネット本体の上部に配設され、食器洗い機の下方に位置するキャビネット本体に、前後方向に操作可能とされた引出しを有する引出し収納部が配設されるとともに、この引出し収納部の下方に下部空間が形成されたキッチンキャビネットであって、引出し収納部の後端がキャビネット本体の背板から前方に離れて配置されるとともに、引出しの前板下端付近から引出し収納部の後端下方に向かい、ここから引出し収納部の後端上部へと至る断面Ｌ字型の開口部がキャビネット本体に形成され、キャビネット本体は、引出し収納部の後方に高さ方向に延びる後部空間を有し、この後部空間は下部空間と連通していることを特徴とするキッチンキャビネット。

【請求項2】 開口部に取外し可能な蓋が装着され、この蓋は、開口部と同じ断面Ｌ字型形状を有する請求項1記載のキッチンキャビネット。

【請求項3】 装着時にキャビネット本体の台輪部の上端付近に配置される蓋前端に、桁材が下方に垂設されている請求項2記載のキッチンキャビネット。

【請求項4】 下部空間の上端付近に位置するキャビネット本体の側板に、食器洗い機用のコンセントが配設されている請求項3記載のキッチンキャビネット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この出願の発明は、キッチンキャビネットに関するものである。さらに詳しくは、この出願の発明は、食器洗い機の配管工事を容易とし、施工性、メンテナンス性ともに優れたキッチンキャビネットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】住宅のキッチンには、使用者のニーズ、キッチンの大きさ等に応じて各種ユニットを適宜組み合わせて形成される、いわゆるシステムキッチンが設置されている。また、調理や後片付け等を簡便に行えるように各種機器が提供されており、その一つとして食器洗い機が知られている。この食器洗い機には乾燥機能を有するものも提供されている。食器洗い機を前記システムキッチンに組み込む場合、例えば図3及び図4に示したようなキッチンキャビネットがしばしば使用されている。

【0003】このキッチンキャビネットでは、食器洗い機(1)がキャビネット本体(2)の上部に配設され、食器洗い機(1)の下方に位置するキャビネット本体(2)に引出し収納部(3)が配設されている。引出し収納部(3)は引出し(4)を有しており、この引出し(4)は、キャビネット本体(2)の前後方向に操作可能とされている。

【0004】このようなキッチンキャビネットは、単に食器洗い機(1)の組込みを可能とするばかりでなく、キッチンで使用される食品、食器、備品等の収納をも可

能としており、機能性に優れたものとなっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、図3及び図4に示したキッチンキャビネットには、施工性及びメンテナンス性の面でやや難点がある。

【0006】食器洗い機(1)には給排水用の配管

(5)が接続される。この配管(5)は、通常、キャビネット本体(2)において引出し収納部(3)の下方に形成された下部空間(6)からキャビネット本体(2)の背板(2a)の後方に引き出され、食器洗い機(1)に向けて立ち上げられる。このような配管(5)の工事を容易とするために、図3及び図4に示したキッチンキャビネットでは、下部空間(6)が十分な大きさとなるように、台輪部(7)を高さ方向に十分にとっている。

【0007】しかしながら、その一方で、台輪部(7)が高くなっているために、引出し収納部(3)の前面開口(3a)は高さ方向が小さく、配管(5)の工事はこの前面開口(3a)を通じて行われるため、作業がやりづらくなっている。

20 【0008】すなわち、配管(5)の工事を行う際、引出し(4)を引出し収納部(3)から取り外し、また、台輪部(7)の上端に装着された仕切板(8)に開口部が形成されていない場合にはこれを取り外し、引出し収納部(3)の前面開口(3a)から下部空間(6)に手を差し込み、作業が行われる。したがって、下部空間(6)が十分とはなっているものの、前面開口(3a)に高さ方向の余裕がないため、手が差し込みにくく、また、手元を確認しにくい。

30 【0009】さらに、キャビネット本体(2)の下部空間(6)は、文字通り、キャビネット本体(2)の下部に位置しており、このため、キャビネット本体(2)が、背板(2a)の後方で行う配管(5)の立上げ作業の邪魔になっている。

【0010】以上の問題は、配管(5)のメンテナンス

時にも共通する。この出願の発明は、以上の通りの事情に鑑みてなされたものであり、従来のキッチンキャビネットの欠点を解消し、食器洗い機の配管工事を容易とし、施工性、メンテナンス性ともに優れたキッチンキャビネットを提供することを目的としている。

40 【0011】

【課題を解決するための手段】この出願の発明は、上記の課題を解決するものとして、食器洗い機がキャビネット本体の上部に配設され、食器洗い機の下方に位置するキャビネット本体に、前後方向に操作可能とされた引出しを有する引出し収納部が配設されるとともに、この引出し収納部の下方に下部空間が形成されたキッチンキャビネットであって、引出し収納部の後端がキャビネット本体の背板から前方に離れて配置されるとともに、引出しの前板下端付近から引出し収納部の後端下方に向かい、ここから引出し収納部の後端上部へと至る断面Ｌ字

型の開口部がキャビネット本体に形成され、キャビネット本体は、引出し収納部の後方に高さ方向に延びる後部空間を有し、この後部空間は下部空間と連通していることを特徴とするキッチンキャビネット（請求項1）を提供する。

【0012】またこの出願の発明は、開口部に取外し可能な蓋が装着され、この蓋は、開口部と同じ断面L字型形状を有すること（請求項2）、装着時にキャビネット本体の台輪部の上端付近に配置される蓋前端に、桁材が下方に垂設されていること（請求項3）、並びに、下部空間の上端付近に位置するキャビネット本体の側板に、

食器洗い機用のコンセントが配設されていること（請求項4）をそれぞれ好ましい態様として提供する。

【0013】以下、図面に沿ってこの出願の発明のキッチンキャビネットについてさらに詳しく説明する。

【0014】

【発明の実施の形態】図1、図2は、それぞれ、この出願の発明のキッチンキャビネットの一実施形態を示した要部断面図、要部正面図である。

【0015】例えば図1及び図2に示したように、この出願の発明のキッチンキャビネットにおいても、従来の図3及び図4に示したキッチンキャビネットと同様に、食器洗い機（1）がキャビネット本体（2）の上部に配設され、食器洗い機（1）の下方に位置するキャビネット本体（2）に、前後方向に操作可能とされた引出し（4）を有する引出し収納部（3）が配設されている。また、引出し収納部（3）の下方に下部空間（6）が形成されている。

【0016】一方、この出願の発明のキッチンキャビネットには、引出し収納部（3）の後端（3b）がキャビネット本体（2）の背板（2a）から前方に離れて配置されるとともに、引出し（4）の前板（4a）の下端付近から引出し収納部（3）の後端（3b）の下方に向かい、ここから引出し収納部（3）の後端（3b）の上部へと至る断面L字型の開口部（9）が形成されている。

そして、キャビネット本体（2）は、引出し収納部（3）の後方に高さ方向に延びる後部空間（10）を有し、この後部空間（10）は下部空間（6）と連通している。

【0017】この出願の発明のキッチンキャビネットでは、上記の通りの開口部（9）が形成されているため、引出し収納部（3）の前面開口（3a）を、図3及び図4に示した従来のキッチンキャビネットに比べ下方に拡大することができる。したがって、配管（5）の施工及びメンテナンスの工事に際し、下部空間（6）に手を差し込むのが容易となり、また、手元確認も容易となる。しかも、キャビネット本体（2）は、前記の通りの後部空間（10）をも有するため、配管（5）の立上げをこの後部空間（10）内で行うことができ、また、ここから配管（5）をキャビネット本体（2）の背板（2a）

の後方に引き出すこともできる。したがって、配管（5）の立上げに際し、キャビネット本体（2）が邪魔することはなく、作業は容易となる。総じて、食器洗い機（1）の配管工事は容易となる。

【0018】さらに、この出願の発明のキッチンキャビネットでは、後部空間（10）は、引出し収納部（3）の後端（3b）をキャビネット本体（2）の背板（2a）から前方に離して配置することにより形成されるため、キャビネット本体（2）の奥行きは、後部空間（10）を持たない図3及び図4に示した従来のキッチンキャビネットのキャビネット本体（2）の奥行きと同一とすることができる。したがって、システムキッチンにおいて隣接する各種キッチンキャビネットとの納まりは良好であり、特に台輪部（7）の藏込み部（7a）を面一に配置することができ、納まりが良好となる。

【0019】なお、開口部（9）には、図1及び図2に示したように、蓋（11）を装着することができる。この蓋（11）は、開口部（9）と同じ断面L字型形状を有する。すなわち、蓋（11）は、水平部（11a）とその一端より上方に垂設された垂直部（11b）を備える。水平部（11a）は、引出し収納部（3）と下部空間（6）を仕切り、垂直部（11b）は、引出し収納部（3）と後部空間（10）を仕切る。このような蓋（11）は、また、取外し可能となっており、配管（5）の施工及びメンテナンス時には開口部（9）から取り外すことができる。このため、配管（5）の工事に支障はきたさない。

【0020】蓋（11）には、装着時にキャビネット本体（2）の台輪部（7）の上端付近に配置される前端（11c）、具体的には水平部（11a）の前端に、桁材（12）を下方に垂設することができる。この桁材（12）により、キャビネット本体（2）における引出し収納部（3）と下部空間（6）の大きさを調節することができる。

【0021】桁材（12）を省略する場合には、引出し収納部（3）を十分大きくとることができ、引出し（4）の収納量を増大させることができる。キャビネット本体（2）には、前記の通りの後部空間（10）が形成されているため、引出し収納部（3）を十分大きくするには、桁材（12）を省略若しくは極力低くするのが効果的となる。

【0022】一方、桁材（12）を設ける場合には、キャビネット本体（2）の下部空間（6）を図3及び図4に示した従来のキッチンキャビネットと同等に確保することができる。また、桁材（12）を設けることにより、下部空間（6）に高さ方向の余裕ができるため、その上端付近に位置するキャビネット本体（2）の側板（2b）に食器洗い機（1）用のコンセント（13）を配設することも可能となる。

【0023】従来、コンセント（13）は、キッチンキ

ャビネットに対向するキッチン壁面に設けられ、図3及び図4に示したように、食器洗い機(1)の電源線のプラグ(14)、アース線(15)は、食器洗い機(1)の背面後方においてコンセント(13)に差し込み、また、取り外すようになっていた。したがって、電気工事の際、食器洗い機(1)が邪魔となることがしばしばであった。

【0024】図1及び図2に示したように、コンセント(13)を、キャビネット本体(2)の下部空間(6)の上端付近に位置する側板(2b)に配設することで、食器洗い機(1)の電源線のプラグ(14)やアース線(15)の差し込み及び取外しを、食器洗い機(1)が邪魔することなく行うことができ、電気工事が容易となる。キッチンキャビネットの施工性及びメンテナンス性はより一層良好となる。

【0025】勿論、この出願の発明は、以上の実施形態によって限定されるものではない。キャビネット本体をはじめ、引出し収納部、引出し、及び台輪部の細部の構成及び構造等については様々な態様が可能であることは言うまでもない。

【0026】

【発明の効果】以上詳しく説明した通り、この出願の発明によって、食器洗い機の配管工事が容易となる。施工性、メンテナンス性ともに優れたキッチンキャビネットが提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】この出願の発明のキッチンキャビネットの一実施形態を示した要部断面図である。

【図2】図1に示した実施形態の要部正面図である。

【図3】従来のキッチンキャビネットを示した正面図である。

【図4】図3に示したキッチンキャビネットの要部断面図である。

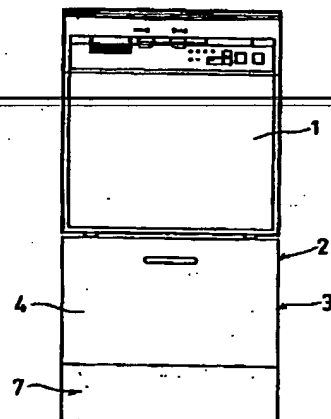
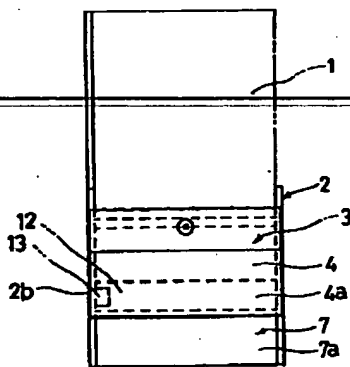
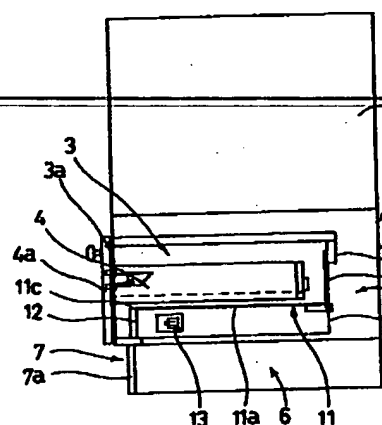
【符号の説明】

- | | |
|-----|----------|
| 1 | 食器洗い機 |
| 2 | キャビネット本体 |
| 2a | 背板 |
| 2b | 側板 |
| 3 | 引出し収納部 |
| 3a | 前面開口 |
| 3b | 後端 |
| 4 | 引出し |
| 4a | 前板 |
| 5 | 配管 |
| 6 | 下部空間 |
| 7 | 台輪部 |
| 7a | 蹴込み部 |
| 8 | 仕切板 |
| 9 | 開口部 |
| 10 | 後部空間 |
| 11 | 蓋 |
| 11a | 水平部 |
| 11b | 垂直部 |
| 11c | 前端 |
| 12 | 桁材 |
| 13 | コンセント |
| 14 | プラグ |
| 15 | アース線 |

【図1】

【図2】

【図3】



特開2001-224450

Technical drawing of a refrigerator with its door open. The drawing shows the internal compartment (1) and the door (2). The door is equipped with a door seal (3) and a door handle (4). The internal compartment is divided into two sections (5 and 6). The door is shown in an open position, revealing the internal components (7 and 8). The drawing is labeled with various numbers (1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8) indicating different parts of the refrigerator.

DERWENT- 2002-013504
ACC-NO:
DERWENT- 200416
WEEK:

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Kitchen cabinet with dishwasher, has L-shaped drawer housing, such that rear space formed between rear ends of cabinet and housing is connected to lower space of cabinet

PATENT-ASSIGNEE: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD[MATW]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0041743 (February 18, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 3501069 B2	February 23, 2004	N/A	004	A47B 077/08
JP 2001224450 A	August 21, 2001	N/A	005	A47B 077/08

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 3501069B2	N/A	2000JP-0041743	February 18, 2000
JP 3501069B2	Previous Publ.	JP2001224450	N/A
JP2001224450A	N/A	2000JP-0041743	February 18, 2000

INT-CL (IPC): A47B077/08

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001224450A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A drawer (4) is provided below the dishwasher arranged in the upper portion of cabinet (2). The drawer housing (3) is formed in an inverted L' shape and an opening (9) is provided below the housing portion. A rear space (10) formed between the rear board (2a) of the cabinet and the rear end (3b) of drawer housing is connected to the lower space (6) of the cabinet.

USE - Kitchen cabinet with dishwasher.

ADVANTAGE - By connecting the rear space formed between rear ends of cabinet and drawer housing, to the lower space of cabinet, the pipework of dishwasher is simplified and access for maintenance work is improved. Workability of the kitchen cabinet is improved.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a sectional view of the kitchen cabinet.

Cabinet 2

Rear board of cabinet 2a

Drawer housing 3

Rear end of drawer 3b

Lower space of cabinet 6

Opening 9

Rear space 10

CHOSEN- / Dwg.1/4

DRAWING:

TITLE-TERMS: KITCHEN CABINET DISHWASHER SHAPE DRAWER HOUSING REAR SPACE FORMING REAR END
CABINET HOUSING CONNECT LOWER SPACE CABINET

DERWENT-CLASS: P25 X27

EPI-CODES: X27-D01B;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-010924